



特集の内容は動画でもご覧いただけます



図 学校教育課 ☎23・5109 スポーツ推進課 ☎23・6372 文化政策課 ☎75・2005

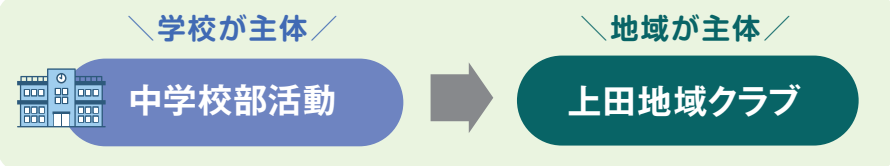
How? どうやって?

どのように展開していくの?

中学生の活動の場を、学校から地域に展開します

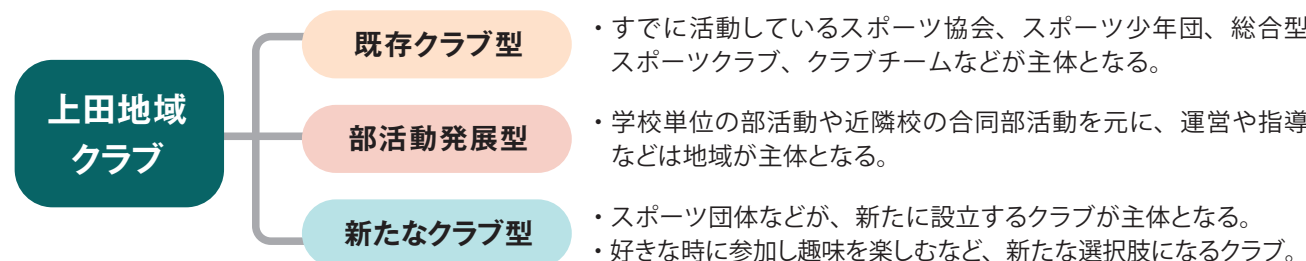
各中学校で実施している部活動は、**令和9年3月を目途に終了**します。
令和9年4月以降は、「(仮称)上田地域クラブ」に活動の場を展開していきます。

展開の時期は一律ではなく、活動内容や地域の実情に応じて、できるところから実施していきます。



「上田地域クラブ」という新しいカタチ

「上田地域クラブ」は、学校部活動がクラブに発展した形や、地域のスポーツ・文化芸術団体など幅広い団体が実施主体となり、子どもたちに活動の場を提供します。勝利至上主義ではなく、子どもたちのやってみたい気持ちを大切にします。



部活動の良さを受け継ぎながら、より良い新たな活動となるように、準備を進めています。



上田地域クラブってこんなクラブ

運営主体	市教育委員会
活動場所	中学校施設(自校または他校)・市内公共施設 ※原則
対象	中学1～3年生 ※中学生以外の参加も可 ※対象・定員は各クラブが定める
活動時間	<平日> 2時間程度(16:00～20:30の間) <休日> 3時間程度(～18:00) ※休養日: 週2日以上 ※週当たりの活動時間: 11時間以内
会費	3,000円/月 ※基本額 ※各クラブが規約で定める
指導者謝金	1,000円/時間 ※基本額 ※各クラブが規約で定める

Why? なぜ?

どうして「地域展開」が必要なの?

今、部活動の継続が困難になっています

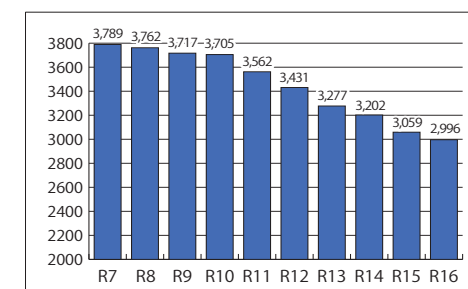
生徒数の減少

生徒数が年々減少しており、中学校単位での部活動が成り立たなくなっています。



- 部員が少なくてチームが組めない
- 通っている学校に、入りたい部活動・やりたい種目がない

市立中学校生徒数の推移



住民基本台帳および学校基本調査から推計

教員の負担が大きい

授業などに加えて部活動指導を行っているほか、休日にも練習や大会があり、大きな負担になっています。



- 全国の中学校の教員の77.1%が「月45時間を超える残業」をしており、働き方改革が必要(文部科学省「教員勤務実態調査」令和4年度)
- 約6割の教員が、経験の無い種目・分野の顧問を務めている



「地域展開」には生徒・学校・地域それぞれにメリットがあります



生徒のメリット

- ✓専門的な指導が受けやすくなる
指導者は専門知識を有しており、技術や知識の向上が期待できます。
- ✓活動の選択肢が広がる
通っている学校に限らず、やりたい活動を選択できます。
- ✓人間関係が広がる
学校以外の仲間や多世代の方と活動することで、人間関係の広がりや地域社会とのつながりが深まります。



地域のメリット

- ✓スポーツ・文化活動が活性化する
- ✓地域資源を有効活用できる



学校のメリット

- ✓生徒と向き合う時間が増える
- ✓教員の働き方改革の推進

中学校部活動の「地域展開」とは、これまで中学校の教員が顧問となり学校主体で行ってきた部活動を、新たに地域が主体となる仕組みに展開することで、全国的に進められています。
市では、中学生の「やってみたい」を地域で支える体制づくりに取り組んでいます。



通っている学校以外で活動する場合の移動方法は？

自転車、公共交通機関、保護者の送迎などが考えられます。

参加者の負担が小さくなるような移動方法を検討しています。

自転車で移動する場合は、保険への加入や安全教育などを徹底していきます。

Q&Aは
市ホームページでも
ご覧いただけます



市ホームページ

会費はいくら？クラブによって違うの？

市では、会費の目安を月3,000円として示していますが、
今後クラブごとに会費を設定します。

クラブによって活動回数や指導者数などが異なるため、クラブごとに設定します。

活動継続のためには、運営費や指導者謝金などが必要なことから、ご協力をお願いします。



どんな人が指導をするの？

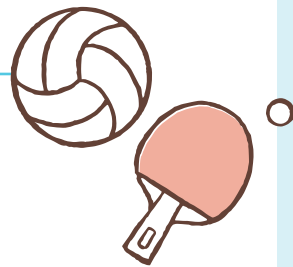
地域の方が指導者になります。
教員が指導者になる場合もあります。

指導者の資質向上のため、指導者としての心得やトレーニングの方法、適切な指導
などに関する研修会を実施します。

中学生の
皆さんへ

あなたの「やってみたい」を応援します！

皆さんの目標に応じた活動の場を用意する予定です。
自分の「やりたいこと」にチャレンジしてみてください！



保護者の
皆さんへ

子どもたちが安心して活動できるように、
ご協力をお願いします！

従来の部活動とは異なり、費用や送迎などの面でご負担をお願いすることにな
ります。また、クラブによっては運営スタッフとして関わっていただくことも
あります。新たな環境でのお子さんの活動のため、ご協力をお願いします。

地域展開の概要や
スケジュールなどにつ
いて説明します

- 期間 11月～令和8年2月
- 場所 お子さんが通学している小・中学校
- 対象 小学5・6年生、中学1年生とその保護者

※詳細は改めてお知らせします。

地域の
皆さんへ

あなたの「力」を貸してください！

現在、地域の皆さんが指導・運営する「地域クラブ」の登録団体を募集して
います。子どもたちのために、あなたの経験を指導やクラブ運営に活かして
みませんか？積極的なご応募をお待ちしています。
詳しくは、市ホームページをご覧ください。



市ホームページ

市内にはすでに、地域展開に向けて創設された地域クラブや、地域指導者が指導をしている部活動があります。
それらの関係者から、想いを聞きました。

CASE1

依田川FC

新しいカタチ | 複数校の生徒が集まり地域クラブを組織

令和7年4月創設

丸子中学校、丸子北中学校、依田窪南部中学校の38名が所属
指導者2名と協力者3名で運営



質の高い練習ができる
ようになりました

依田川FCキャプテン 荒井さん



昨年までは中学校の部活動でサッ
カーをしていましたが、地域展開
によって今は依田川FCに所属しています。

部活動の時より練習回数は減りましたが、その分
1回の練習に全力で取り組むように意識しています。
コーチから専門的な技術を指導してもらえたり、
3つの学校から生徒が集まってくるため、質の高い
練習ができ、依田川FCに所属して良かったと思って
います。

サッカーができる環境を
無くさないために

依田川FC代表兼監督 原田さん



依田窪南部中学校で外部コーチをしていまし
たが、地域展開を機に依田川FCの代表兼監督と
して指導をしています。

3校から生徒が集まることで競争が生じ、お互いに良い刺激になる
など、地域展開のメリットを実感しています。
一方、「サッカーができる環境を無くしてはいけない」という想いで
指導していますが、指導者不足や、これまで学校の先生が担って
いた業務も行う必要があり、負担が大きいなどの課題もあります。
このため、クラブチームを運営していくには、保護者や地域の方の
協力が不可欠です。子どもたちのサッカーができる環境を守っていく
ため、皆さまのご協力をお願いします。

CASE2

第四中学校美術部

新しいカタチ | 地域指導者が指導

第四中学校の21名が所属

令和7年7月から、地域指導者が指導を実施



気軽に相談できる
のがうれしいです

美術部部长 神谷さん



地域指導者の方には、月2～3回
指導に来てもらっています。

専門的なことを分かりやすく指導していただいており、
特に文化祭のステージバックの制作ではとても参考にな
りました。また、描きたいものを気軽に相談できる
のもうれしいです。

今後は、コンクールなどで賞を取ることが目標なので、
地域の皆さんには、私たちの夢を応援してもらえると
うれしいです。

喜びや自信につながって
います

地域指導者 みや@イラストレーター・
デザイナーさん



私が講師を務めるイラスト講座に参加して
いた四中の生徒から、「来てほしい!」と何気
なく言ってもらったことがきっかけで、地域指導者になりました。
指導の際は、子どもたちに寄り添いながら、「楽しくて、分かり
やすい指導」「一人ひとりの目標に合わせた指導」を心掛けて
います。

部活動の指導をととして地域に貢献することで、喜びや自信に
つながっています。大変な面もありますが、今後の人生に役立つ
と感じていますので、部活動の指導に参加する方が増えると
うれしいです。